

## 会 議 録

- 議事内容 2023年度 1月定例教育委員会
- 日 時 令和6年1月18日(木) 13:30～16:10
- 場 所 4階会議室4-1
- 出席者 教 育 長 小西博泰  
教 育 委 員 河嶋栄里子・藤本真理・石原友紀・酒井秀彦  
事 務 局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長  
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長  
竹内スポーツ振興課長・教育総務課 澤谷

### ■〔会議の内容〕

- 1 開会あいさつ  
・教 育 長
- 2 前回議事録確認  
・全委員一致で承認

### 3 協 議 事 項

☆今月の議論のテーマ：新幼稚園の教育方針・目標について  
新幼稚園開園準備検討会の設置について  
令和6年度の幼稚園運営方針について

#### ○夢と希望の教育とは

脳科学の知見をもとに心を育てる教育

→子どもたちの夢と希望をかなえる「確かな学力」を育てる教育

→子どもたちの夢と希望の選択肢を増やす

「前頭前野」を健康に育てる→「夢と希望をかなえる」

#### ○重要施策1 おの検定

簡単なこと、基本的なことの繰り返しが脳を育てる。

「おの検定」のねらい

1. 基礎学力・体力の育成
2. 家庭学習の習慣化、朝食の推進
3. 「やればできる」チャレンジ精神の育成

#### ○重要施策2 16か年教育（就学前教育の充実）

16か年教育…命の宿ったときを0と数え、義務教育が終了するまでの16年を捉える

脳細胞の発達  
の1回目は産まれてから3歳・4歳までに急激に発達する

2回目は10歳を契機に発達を起こす 10歳の飛躍

→1回目の発達をうまく捉えるための就学前教育

脳が元気に働くために必要なもの

睡眠・食事・コミュニケーション→これを支えているのが**親子の愛着形成**

市民に伝えるための取り組み

- ・健康増進課で開いている未来のパパママ教室・7か月児教室、市内14園の保育所が行っているいきいき子育て支援教室で、脳科学理論について説明する
- ・幼保指導者研修会で脳科学理論をもとにした「脳トレ遊び」や「コミュニケーションを大切にしたい遊び」を体験

### **新たな幼稚園プロジェクト**

選ばれる幼稚園を目指して

#### **親子活動の重視**

- ・園での“親子の愛着形成を図る”

#### **幼小＋中高連携**

- ・給食の完全実施
- ・小野小との連携や行事交流
- ・小から幼への指導者派遣
- ・“小1体験”（1日入学） など

#### **屋外教育環境の整備**

- ・園庭の芝生化・多様な遊び場

### **○重要施策3 小中一貫教育**

脳科学と小野市の「小中一貫教育」

#### ①「夢と希望の教育」を展開する

16か年教育の一環としての小中一貫教育

義務教育を修了する15歳の姿をイメージ

子どもたちの夢と希望をかなえる教育を「キャリア教育」の視点を重視

#### ②脳科学理論を生かした前頭前野の発達を踏まえた小中一貫教育

教育行政顧問川島隆太教授の研究成果を教育活動に応用

前頭前野の発達と各成長段階に応じた教育を9か年を通して展開

脳の発達に基づく教育課程の区分

10歳の壁を越えた中期に重点を置いた小中連携

- ・教育課程（区分）を6・3制から4・3・2制へ
- ・河合小中学校は平成27年度から施設分離型「5・4」制の小中一貫教育を推進

## ○その他の取り組み

- ・川島隆太教授 体験型後援会（市内小学校5年生が全員参加）
- ・児童生徒主役の授業 言語活動の充実
- ・英語教育の充実 ALT・専科教員（全小学校配置）
- ・GIGAスクール構想 「小野市型GIGA school project」の推進

## ○夢と希望の教育「Re:Start」～今そこにある危機～

スマートフォン等とのかかわり方

- ・1日当たりのゲームの時間の増加
- ・ゲームの長時間化→心身への影響・学習効果を打ち消す可能性

不登校の増加

家庭学習時間が減少傾向にある

## ○小野市立おの幼稚園開園準備検討会設置要綱

1. おの幼稚園の開園にあたり、必要な事項を調査、検討するために検討会を設置する。
2. 目的として、園章、園服、体操服及び通園カバンの選定を行う。その他開園にあたり必要な事項に関することを検討する。
3. 検討会の構成として、わか松幼稚園と小野東幼稚園の保護者の代表。また、小野小学校の敷地内に建設するため小野小学校長に入っていただく。わか松幼稚園と小野東幼稚園の園長と教諭、事務局、事務局が入り、計9名を予定している。また、事務局として学校教育課と教育総務課の職員が入る。

## ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q: 検討会の中に保護者代表が入るとのことだが、代表というのはPTAの会長といった方のことか。(教育委員)

A: その通り、PTAの方を想定している。4歳児の保護者の方に入っていただけたら、次年度も引き続きしていただけるのではないかと考えている。そのあたりは事前に説明した上で決定する。(事務局)

Q: 会議を開催する時間帯はいつ頃を考えているのか。(教育委員)

A: 幼稚園が2時か3時に終わるのでそれ以降の時間で、お迎えに来られた後、引き続きする等、参加しやすい時間帯を聞いて進めたい。(事務局)

A: 園章等を決めていく時に、できるだけ保護者の総意や様々な意見を聞きながらまとめていきたい。(教育長)

Q: 先生は今のわか松幼稚園と小野東幼稚園の先生方のまま、増減しないということでしょうか。(教育委員)

A:その通り。(事務局)

**Q:芝生を予定しているとのことだが、維持管理が大変だと考える。維持管理にはシルバー人材センター等、経験のある方が入られるのか。(教育委員)**

A:維持管理は大変ではあるが、それも考えたうえで取り組む。土の部分もある程度残しておく必要はあると考えているが、最低でも子どもたちが十分に遊べるような広さの芝生にしたい。裸足で遊び、足の指を使うことは子どもたちにとって非常に重要で、脳の刺激にもつながるので、脳科学にも通ずる部分があると考え。(事務局)

**Q:幼稚園でプール遊びはしているのか。(教育委員)**

A:簡易プールを使ってプール遊びを行っている。(事務局)

- ・ 16年か教育を進める上において、やはり小野市の幼児教育の指針となる幼稚園は残す必要がある。いかに魅力あるものにしていくのかということがこれからのテーマである。(教育長)
- ・ 保護者の方を孤立させないという取り組みも大きな柱になると考える。(教育委員)
- ・ 今の幼稚園もそうだが、支援が必要な子どもや外国の子どもなどのセーフティネットとしての役目を果たしているので、4・5歳の実践の場であると同時に、これからの多文化共生や多様な特性の子への対応の場でもある。(事務局)
- ・ 幼稚園と保育園でそれぞれ特徴があり、子どもによって合う合わないがあるので、両方ともニーズがある。そういう意味で両方とも大切ではないかと考える。(教育委員)

**Q:築山にはどのような利点があるのか。(教育委員)**

A:子どもたちは高いところに登ったり、上から滑ったりするのが好きなのと、土管をつけることで中に入って遊ぶこともできる。遊具も子どもの創造性や能力を高めるようなものを設置する。(事務局)

A:「幼稚園に行ってよかった」と言ってもらえるような内容に踏み込まなければいけないので、幼稚園の特質というものを出していきたいと考える。(教育長)

- ・ 家に余っている絵本を持ち寄って、様々な絵本が読めるようにするというのはどうだろうか。(教育委員)
- ・ 卒園したご家庭なら絵本を残していることも多いのではないかと。これから卒園するご家庭の保護者にあらかじめお伝えしておくのもいいかもしれない。(教育委員)

## ○令和6年度の幼稚園運営方針について

- ・ 令和6年度に入園予定の4歳児の人数は、現時点でわか松幼稚園が5人、小野東幼稚園が10人。来年度は人数が少ないが、わか松幼稚園1クラス、小野東幼稚園1クラスで運営する。指導については、両園合わせて指導する場面もあったり、両園混合で、半分ずつに分けて少人数で指導したり、異年齢での活動をする等しながら社会性を育てるような取組も検討していきたいと考えている。人数が少ないことをマイナスに考えるのではなく、少ないからこそできるというプラス思考で、少人数で伸ばせる力というのを十分見ながら指導していきたい。(事務局)
- ・ 様々なニーズや多様性に対応できるようにするためには多くの指導パターンが必要だと考える。少人数教育や、あるいは複数の指導者が入る等、多様な教育スタイルの素敵な幼稚園運営をしていきたい。(教育長)

---

## 4 報告事項

- ・ 令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

### ■【学校教育課関連】

#### ①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・ 12月12日から15日に市独自の学力テストである到達度テストを実施。2月の中旬には各校の結果が集まってくる。
- ・ GIGAの実践記録集の集約を行っており、12月末で90事例。今年もかなりの数の実践事例が集まると考えている。
- ・ 1月9日に小野南中学校で人権教育研究大会を実施した。

(今後の予定)

- ・ 夢と希望の教育リーフレットの2024年版の編集を進めている。
- ・ 「新たな幼稚園」projectの推進に加え、わか松幼稚園の園舎とのお別れの時期が迫っているので、「お別れ園行事」の準備も進めている。
- ・ 1月に2年生対象のひらがな聴写テストを行う。

#### ②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・ 『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告。
- ・ 学級閉鎖等による教育課程への影響について、学級閉鎖が多かった学級においても3学期の時間数で授業時数を確保できるという計算が立っているので、このままの予定で進めていく。

### ③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・来年度の教職員人事の時期に入っているので、準備を進めている。
- ・働き方改革の推進ということで、働き方の実態調査を検討しており、準備でき次第進めたいと考えている。

### ④学校教育課情報

#### 1 市の取組予定

- ・1月 9日 人権教育研究大会 小野南中
- ・夢と希望の教育推進委員会（2023年度リーフレットの編集等）  
※令和5年度のまとめと令和6年度へむけて
- ・1月20日・30日 おの検定推進委員会（各部会）  
※推進状況とテキストの確認
- ・1月末まで ひらがな聴写テストの実施・分析

#### 【議会行政視察対応】

- ・1月10日 福島県 伊達市議会
- ・1月12日 山梨県 富士吉田市議会
- ・1月17日 千葉県 野田市議会
- ・1月25日 静岡県 伊東市議会
- ・2月 1日 群馬県 大泉町議会

#### 2 学校の取組

○到達度テストの結果分析とフィードバックへ

○小野市型GIGAスクールプロジェクトの実践事例集のまとめ

12月末現在 90事例

#### 3 学校の状況等

○12月の4号報告1件

○12月の不登校の状況

- ・小学校23名（前年20名）
- ・中学校92名（前年74名） 合計115名（前年94名）
- ・報告件数も少なくなっており、安定した学校生活を送れていると考えている

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：冬休みの間は皆元気に過ごされたという認識でよいか。（教育委員）

A：報告も少なかったなので、安心した生活を送れている証拠だと考えている。（事務局）

**Q:特に怪我や大きな事故もなかったか。(教育委員)**

A:所々怪我をしたという報告は上がっているが、大事に至らない怪我ばかりだと報告を受けている。(事務局)

**Q:不登校の人数がやはり多いが、3学期を迎えるにあたって何か変化はあったのか、現状を教えてほしい。(教育委員)**

A:大きな変化は特に見られないが、長期休みなので、冬休みが明ける前には連絡を取ったり、家庭訪問を実施して、子どもたちの様子を確認したと学校から聞いている。いつものように丁寧に子どもたちに対応するようにしている。(事務局)

**Q:特に9年生の出席状況が気になる。その辺りもケアはしてくださっていると思うが、特に不登校が多いといったようなことはないのか。(教育委員)**

A:全体的な傾向として、9年生は進路の話が出てきて今後の見通しが持てるようになってくる10月・11月以降から数が減っていく。今年度についても、9月がピークでそこから徐々に減ってきている。もう少し具体的に進路の方向性が見え始めた頃には、学校へ行きにくかった子が少しずつ登校しだすという傾向が例年あると聞いている。(事務局)

**Q:特別支援学級の学級編制について、現在はこういったお話をされているのか。(教育委員)**

A:9月に教育支援委員会を開き、特別支援教育にかかわる子どもの進学先として、どこが良いのかといったことを判定する。その結果を保護者にお伝えし同意を得た上で来年度の特別支援学級の編成を行っていくという流れであり、現在も続けている。特別支援学級に進学する子どもについても、今後必要なケアが出てくるので、物品や環境整備が必要な場合はこの時期から準備しており、それら含めた意味での学級編制という形である。9月の時点で判定が出てから、後は情報を集めながら4月からより良いスタートが切れるように準備を進めていく。それから、3月の終わりに確定し、途中から転入されてくる子どももいるので、3月まで学級編成は続けていく。(事務局)

**Q:特別支援学級から特別支援学校に行くことも、1つの選択肢としてあるのか。(教育委員)**

A:特別支援学級から特別支援学校に行くという判断をされるご家庭もある。逆に、数は少ないが支援学校から支援学級に行くこともある。それから、県立の特別支援学校に通っているが、やはり地域の学校を卒業して高校に進学したいというような思いがあって、県立の特別支援学校から市内の学校に転入される場合もある。(事務局)

**Q: その場合は、県立の特別支援学校に進学していたけれど、元々小野市内に住んでいる方が市内の学校に転入するということか。(教育委員)**

A: その通り。小野特別支援学校だけではケアができない場合もあるので、専門的な機器や専門家がいる学校の方がその子の成長が見られるようなときは、そちらを選ばれる場合もある。(事務局)

A: 特に視覚支援や聴覚支援が必要な子どもは県立の支援学校に通われている場合もある。ただ、最終的には地域で生活することから、地元の学校に通いたいと転入される場合がある。そういう子が転入してきても問題の無いようにするためには、正しく指導できる先生の育成や支援機材を用意する必要があるということによって現在調整を加えているところである。(教育長)

A: 例えば、聴覚支援が必要な子で雑音が授業の邪魔になったりする場合は、音が出ないような環境整備を進めることが必要になってくるので、物の準備を進めたり、環境整備について学校と相談したり、学級を決めるだけでなく学級に向かっの準備を進めている。(事務局)

**Q: 人権教育大会に参加された先生方の感想をまとめたものはあるのか。また、どのような感想があったのか。(教育委員)**

A: 現在まとめている所である。基本的には、色々な人の考えを聞いたり、学校の実践を聞いたりする場なので、人権教育を考える非常にいい機会になっているという感想が多い。(事務局)

**Q: 今年は例年より時間が短くなったが、特に問題はなかったのか。(教育委員)**

A: 時間を短くしたが、その分集中して議論できたところがあった。時間が足りなかったというような意見はあまりなく、感想の内容の質もそれ程変わっておらず、良く考えられた感想がたくさんあったので、時間設定については良い設定だったと考えている。(事務局)

A: いじめ問題と人権教育の強化に興味あったので、両方に参加した。様々な取組を聞くことができるとても良かった。特に先生方がグループで活発な話し合いをされていたことに非常に感心した。そのように皆で日頃の課題を持ち寄り、意見を言い合えたことは良かったのではないかと考える。ただ、5、6人のグループだとどうしても活発な先生が意見を引っ張るといった感じになるので、2、3人くらいのより少数のグループでも良いのではないかと。(教育委員)

**Q: 少数グループになる場合は、年齢層等はどんな感じが良いだろうか。(教育長)**

A: 学校や担当教科もバラバラで、年齢も離れている等、できるだけ環境が離れている先生が集まってバリエーションに富んだほうが良いと考える。(教育委員)

A: 意見交換が活発で、中学校の先生から各小学校の状況を聞いたりしていたので、小・中ですごく結びつきがあると感じた。本当に年齢に関わりなく、若い先生もベテランの先生も発言されていたのがすごく印象的だった。(教育委員)



Q:わか松幼稚園のお別れ行事ということで、1月7日までわか松幼稚園の思い出の写真を募集されていたが、どのような形で使用するのか。(教育委員)

A:幼稚園の先生が中心になってアイデアを出して進めている。パネル展示のような形でお見せするというものと、ショートビデオのような形で来られた方にずっと見てもらえるようなものという、主にその2つの方法で思い出の写真を見ていただこうと考えている。(事務局)

Q:カリキュラムについて、学級閉鎖や学校閉鎖まであったのでかなり休んだというイメージがあるが、2学期の間で授業時数はカバーできたのか。(教育委員)

A:ほぼ確保できている。12月末の段階で教育課程の73%くらいを消費していれば後は余裕を持って消費できるが、どの学校も73%は超えている。全クラスの学級閉鎖日数を調べたところ、一番多いクラスで学級閉鎖が6日あったが、そのクラスについても2学期が終わった時点で75%を消費している。授業時数も全て調べたがまだ余裕があるので、何度も学級閉鎖が起きなければ、3月末までに必要な時数はクリアできるという計算がたっている。1月の校長会では、学校ごとに何%消費しているか全て一覧表にして、一度学校できちんと確認をして、危機感を持って1月から3月までの教育課程を組んでいくよう共有している。今後学級閉鎖が数日間あったときにはどうするか考えないといけないので、健康管理と授業時数を前もってカウントするように、必要な学校にはお話しして、教育課程が確保できるように進めている。(事務局)

Q:学校の先生がそうやって頑張られても、やはり冬休みで保護者と子どもの気が緩み、感染対策への意識が下がっているのでは、改めて注意喚起をしていただきたい。(教育委員)

A:12月に一度啓発して、現在もHPに掲載しているが、再度啓発を行う。(教育長)

Q:連絡方法について、咄嗟の時はメールで保護者に連絡しており、その他にもHPを定期的に更新してお知らせしているということですね。HPはきちんと更新できているのか。(教育委員)

A:必要な情報は必ずHPとメールによってお知らせして、時間があるときはそれを文書にするという、基本その3段階で確実に保護者の方に連絡ができるようにしている。(事務局)

Q:1年を通して何回かメールが自分のところには届かないということがあがる。例えば、学期の初めにテストメールを送信するといったことをしてはどうか。(教育委員)

A:再度確認し、テストメールについても検討して、また学校長の方にお伝えする。(事務局)

**Q：行政視察で多くの方が来られているが、どういった意見や感想があったのか。  
（教育長）**

A：川島隆太先生が教育行政顧問に就かれていることにまず驚かれる。それから、脳科学理論をもとに16か年教育が1本の軸で実践されているということや、おの検定等の取組も軸を持って、継続的に取り組んでいるということに驚かれる。成果が出ているところもあるのでそれについて説明すると、高い評価をいただくことが多い。（事務局）

**Q：PTAについて、新しい役員と入れ替えの時期になるが、PTAの運営に関しては特に問題はないか。（教育委員）**

A：今のところ問題ない。全国的にPTAについての議論はたくさんあり、色々なトラブルや課題を聞くが、小野市の場合は今のところ特に問題なく決まっている。（事務局）

A：人口も少子化になり、親の世代の見識も変わっているので、PTAに対する捉え方は絶対に変わってくる。そのため、いずれは課題が出てくると考える。（事務局）

**Q：その場合、何か問題が起こる前に対応していくのか、それとも何かあったときに対応するのか。（教育委員）**

A：基本的にPTAというのは自主的な団体なので、そこに対して先に何かをすることはしない。色々な課題をかかえながら運営しているが、困ったときや取組に対する支援というのは、行政はしていかなければならない。（事務局）

---

## ■〔教育総務課関連〕

### ①新幼稚園整備事業

（進捗状況）

- ・現在、設計業務を進めており、進捗率は12月末で90%。予定通り進んでいる。
- ・新たな幼稚園の園章のデザインを現在公募している。募集期間は12月1日から1月末まで。現在18件の申込があった。（仮称）おの幼稚園開園準備検討会でデザインを数点選び、最終的には定例教育委員会や市長に見ていただいて決定する。3月末までにデザインを決定したいと考えている。

（今後の予定）

- ・園歌作詞・作曲の候補者への打診について、永田和宏先生のところに作詞の依頼に伺い、了解をいただいた。こちらも順次進めていく。

### ②学校施設長寿命化対策事業（旭丘中学校）

（進捗状況）

- ・校舎の建設工事については、12月末現在の進捗率は13.5%。予定通り進んでいる。外部足場設置、内装解体撤去、外壁改修を行っている。

### ③学校施設バリアフリー化整備事業

(進捗状況)

- ・現在、小野小学校エレベーター設置工事の設計業務を進めており、進捗率は12月末現在で100%。

(今後の予定)

- ・小野小学校エレベーター設置工事の発注を進めており、2月に入札を予定している。その後工事に入り、9月末までに完成する予定で進めている。

### ④教育総務課情報

#### 1 学校施設工事等関係

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事 設計・監理業務委託

令和5年5月17日入札落札 (株)小西設計 小野市上本町

令和5年5月19日～令和6年3月20日 7,700,000円

→設置後約37年が経過し、老朽化が進んでいるため更新を行う。6月30日に現地調査を実施し、受水槽の設置位置を決定。

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事

令和5年9月8日入札落札 藤井設備工業(株) 小野市敷地町

令和5年9月13日～令和6年3月20日 45,760,000円

○河合小学校・市場小学校空調更新工事 設計業務委託

令和5年6月28日随意契約 (株)小野設計 姫路市

令和5年6月28日～令和6年3月20日 4,895,000円

→学校の空調は平成23年度に一斉に整備され、12年が経過し、故障等の不具合が多く、部品の生産も終了しているため修理できない状態であることから、順次更新を行う。

○小野中学校、小野特別支援学校ポンプ更新工事

令和5年8月8日入札落札 (株)エアコンサービス 小野市菅田町

令和5年8月15日～令和6年3月15日 10,813,000円

→小野中学校上水ポンプ及び小野特別支援学校消火ポンプについて、老朽化等が進んでいるため更新を行う。

○小野小学校プールろ過設備改修工事

令和5年11月2日入札落札 金川電業株式会社 加東市

令和5年11月8日～令和6年3月11日 11,990,000円  
→学校のプールろ過機は20年に一度定期的に更新が必要なので、更新工事を行う。

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:永田先生に園歌の作詞を依頼したが、反応はどうだったのか。(教育長)

A:非常に前向きで、最後には「引き受けるからには心して作詞する」というような力強いお言葉をいただいた。(事務局)

Q:作曲の方はどうなるのか。(教育長)

A:今のところ永田先生の知人で、以前に幼稚園の園歌を作られたときに作曲された方だとやりやすいのではないかとということで相談している。(事務局)

A:子どもたちが口ずさめるような園歌になってほしい。(教育長)

Q:おの幼稚園ができるにあたって、わか松幼稚園の方が小野東幼稚園に行き、合同幼稚園となることで、隣にある小野保育所にも影響が出ると思うが、何かやり取りはされているのか。(教育委員)

A:駐車場について、一部のエリアを貸していただくという調整を行い、大丈夫だと回答を得ている。(事務局)

Q:河合小学校・市場小学校の空調更新工事について、授業時間以外のところで工事を行うといった形なのか。(教育委員)

A:主に夏休み等を利用して更新工事を行う。平日であれば児童が下校した後に工事に入ってもらおう。(事務局)

A:長期休業中や空調を使わない時期があるので、そのときに集中して工事を行う。(事務局)

Q:例えば全ての空調が壊れていなくても全部更新するのか。(教育委員)

A:基本的に10年以上等、年数が経過しているものについては全て更新を行う。(事務局)

---

#### ■【いきいき社会創造課関連】

##### ①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・12月1日に文化庁へ認定申請書を提出した。
- ・12月15日に文化庁の認定をいただいた。

(今後の予定)

- ・3月9日に神戸大学の奥村先生来ていただき、地域計画記念講演会を開催する。

## ②コミュニティセンター事業（地域づくり協議会、特色ある取組み等）

（進捗状況）

- ・かわい：12月1日にヒューマン人権標語展示を開催。（JR2駅）  
12月26日にJR駅舎正月かざり・花植栽による景観整備を実施。参加者は10人。
- ・おおべ：12月6日に防災研修会を実施した、参加者は15人。
- ・下東条：12月6日に高齢者交流グラウンドゴルフ大会を実施した。出場者は100人。

（今後の予定）

- ・いちば：地域づくり活動用備品の購入を行う。1月中に納品予定。  
購入物品…パソコン10台、草刈り機1台 ほか  
購入金額1,925千円 助成金1,800千円

## ③いきいき社会創造課情報

### 1 事業報告

〔いきいき社会創造係〕

#### ○2024小野市成人式

日 時：令和6年1月8日（月/祝）10：00～

場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール

<式典テーマ>

十人十色 ～白だけでも200色あんねん～

<式典プログラム>

White : オープニング

Scarlet : 恩師のビデオレター

Turquoise : 思い出ムービー

Jaune Brillant : 20歳の主張

Marigold : エンディング

参加者数：399人／対象者数：577人（参加率：69.2%）

（参考）※中学校卒業生数：488人（参加率：81.8%）

〔図書館〕

#### ○クリスマス展示・みんなでツリーを飾るコーナー

内 容：「クリスマスにおすすめの本」や「みんなでツリーを飾るコーナー」を設置。また、クリスマスの絵本を2冊セットにした「クリスマス絵本パック」を貸出。

期 間：11月29日（水）～12月25日（月）

○お楽しみ袋

内 容：「料理」や「旅行」、「歴史」などの本をジャンル別に2冊セットにした「お楽しみ袋」を貸出。

期 間：12月15日（金）～12月28日（木）

〔好古館〕

○コーナー展「家康と一柳家―大坂の陣編―」

期 間：10月31日（火）～12月27日（水）

内 容：NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、大坂の陣を通して家康と小野藩主の先祖一柳直盛の関係を紹介。

会 場：小野市立好古館 常設展示室1内

入 館 者：2, 328人

〔コミセン〕

○2023クリスマスコンサート

日 時：12月16日（土）10：00～12：00  
13：30～16：00

場 所：コミセンおの コミュニティホール

内 容：「Sweet Bell」や「エクラひまわり楽団」のほか市内外で音楽活動を行う6つのグループを招待し、ハンドベル、吹奏楽やギター演奏など多彩な音楽コンサートを開催した。来場した子ども達には菓子などのプレゼントを贈った。

来場者数：100人

○第6回乗って残そう！神戸電鉄粟生線フォトコンテスト展

日時場所：11月 7日（火）～11月19日（日） コミセンおの  
11月27日（月）～12月 8日（金） 本庁ウエルカムギャラリー

内 容：フォトコンテスト応募作品の展示 計81点

○市場地区独居高齢者等昼食提供支援事業

日 時：12月4日（日）11：00～12：30

場 所：コミセンいちば 集会室等

内 容：民生委員等と連携し、独居高齢者を対象に昼食会を開催した。

参加者数：56人

## 2 今後の予定

〔図書館〕

○えほんおみくじ

内 容：おみくじは全部で4種類（大吉・中吉・小吉・吉）あり、それぞれにお薦めする絵本が書いてあります。おみくじと併せてお薦めする絵本を展示。

期 間：1月4日（木）～1月22日（月）

〔好古館〕

○新春十二単・束帯の着付体験

日 時：1月13日（土）・14日（日） 9時～15時

定 員：1日6組（計12人）

○企画展「第13回ビッグひなまつり」

期 間：令和6年1月27日（土）～3月31日（日）

内 容：館蔵品をはじめ、市内に残る逸品のひな人形81組685体を一堂に展示する。

会 場：小野市立好古館 玄関ホールほか

○小野商店街のひなめぐり

期 間：令和6年1月27日（土）～3月3日（日）

内 容：小野商店街の各店舗の店頭にはひな人形を飾り、春を感じながら陣屋の町小野のまち歩きを楽しんでいただく。

会 場：小野商店街、伝統産業会館、コミセンおの、好古館

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：成人式はどんな感じでしたか。（教育長）

A：自己表現をすごく大事にされていて、自分を出すという表現の場になっており、それを皆が受けいれていて、良い意味で若い世代の人は感覚が違うと感じた。担当課が主導するのではなく、成人式実行委員会の方がやりたいことをされたということが素晴らしいと考える。最後に、実行委員長が皆を代表して大事なことを述べられていたので、バランスが取れていた。（教育委員）

A：式典テーマの通り個性が溢れていて、小野市の成人式はいつも成人の人たちが主導となって作り上げているというのがすごく特徴的だと考える。今年は1月1日から震災があったため黙祷から始まり、最後は感謝の気持ちで締められていて、日常は当たり前ではないということもテーマに含められていたので、素晴らしいと感じた。（教育委員）

A：笑うところは笑ったり、楽しむところは皆で楽しむというように、観客席と一体になっていてすごく良いと感じた。（教育委員）

**Q: 黙祷は新成人からの申し出なのか。(教育長)**

A: 1月4日に成人式実行委員会を行った際に、実行委員のほうから黙祷したいという申し出があったので、シナリオに組み込んだ。(事務局)

**Q: 実行委員会は何回くらい開催されたのか。(教育委員)**

A: 9回程開催した。実行委員は13名いるが、学校や仕事があるので毎回5、6人が参加するような形だった。それから、小野市から離れたところにいる人はリモートで参加するという形もとっていた。(事務局)

**Q: 成人式は12時頃を目途に解散ということだったと思うが、皆スムーズに帰られたのか。(教育委員)**

A: 式自体は少し時間が延びたが、例年に比べて入場も早く、終わった後も外で喋られていたが大きな騒ぎもなく、後片付けもしやすかった。(事務局)

**Q: YouTubeでのライブ配信は終わった後も何日間か視聴できたのか。(教育委員)**

A: 1月8日から14日まで公開されていた。再生回数は432回で出席者よりも多いので、家族の方や欠席された方が視聴されたのではないかと考えられる。(事務局)

- ・不登校だった子が、その当時先生が毎日のように家に来てくれる等とてもお世話になって、当時は色々抱えていたけど明るくなった姿を見せられたし、先生もとても喜んでくれたということをお聞きした。不登校だった子どもが現在こうして感謝しているということをお伝えしたかった。(教育委員)

**Q: ビッグひなまつりは今回で13回目を迎えるのですね。市外から来られる方も多く、好古館の館長も喜んでいらっしやった。今回も何か目玉になるものはあるのか。(教育委員)**

A: 昨年は一柳家伝来のひな飾りをいただいて、今年はわか松幼稚園のひな人形がそこに彩を添えるのではないかと。(事務局)

---

## ■【スポーツ振興課関連】

### ①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・ひまわりカードを用いた第2回「朝食摂取率調査」を令和6年1月15日から19日に実施する。今回からひまわりカードのデザインと啓発文を更新した。啓発文には朝食摂取率の過去からのグラフや、川島隆太教授おすすめの朝食メニュー、クッキングコンテストの受賞者のメニューも掲載し、皆の関心を引けるように努めている。ひまわりカードについては、睡眠について項目を追加している。小さな子どもも見やすいように配慮した形にしており、中学校・特別支援学校については、さらに栄養も考えるようなイラストにしている。また結果を集計して報告する。



## ②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・職員や各種団体、ボランティア関係者からいただいた、今後に向けた改善点等の意見を現在集約している。
- ・第10回大会での課題を踏まえ、第3回実行委員会で検討を行い、次年度以降に繋げていく。

## ③スポーツ振興課情報

### 1 学校保健体育

○第38回北播小学生駅伝カーニバル

日 時：令和6年1月20日（土）8：30～  
場 所：加西市立善防中学校周辺コース

### 2 社会体育

○第2回小野市スポーツ協会理事会

日 時：令和6年1月29日（月）19：00～  
場 所：市役所2階多目的ルーム2  
参加者：約50名（スポーツ協会会長・副会長、各協会理事長等）  
内 容：令和5年度スポーツ賞表彰式 受賞者の決定

### 3 今後の予定

○小野市スポーツ賞表彰式

日 時：令和6年3月23日（土）表彰式14：00～14：50  
講演会15：00～16：00  
場 所：うるおい交流館エクラ エクラホール  
内 容：小野市スポーツ賞表彰・小野市スポーツ協会賞表彰  
赤星憲広氏講演会

○第12回小野アルプス縦走ハイキング

日 時：令和6年3月16日（土）9：30受付開始 10：00開会  
場 所：スタート（神戸電鉄・JR加古川線粟生駅）  
ゴール（白雲谷温泉ゆぴか）  
募 集：令和6年1月15日（月）～2月14日（水）  
定員300名（先着順）  
参加費：無料  
（白雲谷温泉ゆぴか入浴半額券を参加者全員にプレゼント）

駐 車 場：加古川上流浄化センター（150台）

■【説明事項に対する教育委員会からの照会及び意見】

Q：スポーツ賞表彰式の赤星さんの講演会では、どのようなテーマでお話しされるのか。（教育委員）

A：スポーツを通じた教育をメインにお話しされる予定。（事務局）

Q：縦走ハイキングについて、定員が300名ということだが特に問題はないのか。（教育委員）

A：人数的には特に問題はないが、何年か前に警察からきちんと管理するようご指導があったので、しっかり管理できるようにして開催する。（事務局）

Q：スタートからゴールまで何時間程かかるのか。（教育委員）

A：制限時間を14時に設定しており、大体4時間程かかる。（事務局）

Q：当日雨が降った場合はどのように中止の連絡を行うのか。（教育委員）

A：HP上で公表するという形をとっている。（事務局）

---

---

5 次回定例教育委員会予定

令和6年2月19日（月）午後1時30分 4階会議室4-1

6 閉会あいさつ 教育長